

乾燥性 ※フロンアクアファースト・フロンアクアファースト遮熱共通

温度	10℃	23℃	30℃
上塗り可能時間	60分	40分	30分
歩行可能時間	60分	40分	30分
重作業可能時間	24時間	15時間	12時間

※乾燥時間は施工環境により多少前後しますのでご注意ください。

性状・物性 ※フロンアクアファースト・フロンアクアファースト遮熱共通

試験項目	試験結果	試験条件
外観	着色粘稠液	
粘度	12,000mPa・s	B型粘度計23℃
引っかき硬度	B	JIS K 5600鉛筆法
摩耗質量	100mg	JIS K 7204 テーパー式摩耗試験機、CS-17 9.8N 回転数1000回
鏡面光沢度	3	JIS K 5600入射角60度
耐候性	異常なし	ウェザーメーター500時間
ホルムアルデヒド放散等級	F★★★★	JIS K 5601-4-1

フロン水性プライマーF

外観	白濁色粘稠液	
粘度	20mPa・s	BH型粘度計23℃
上塗り可能時間	50分以上	10~35℃

耐薬品性・耐油性 ※フロンアクアファースト・フロンアクアファースト遮熱共通

試験項目	結果	試験条件
耐水性	◎	水道水、一ヶ月浸漬
耐塩水性	◎	20%塩水、スポット試験48時間
耐酸性	◎	10%塩酸、スポット試験48時間
	◎	10%硫酸、スポット試験48時間
	◎	10%硝酸、スポット試験48時間
	◎	10%酢酸、スポット試験48時間
耐アルカリ性	△	10%苛性ソーダ、スポット試験48時間
	△	10%アンモニア、スポット試験48時間
耐生活材性	◎	飽和砂糖水、スポット試験48時間
	◎	醤油、スポット試験48時間
	◎	ソース、スポット試験48時間
耐油性	◎	サラダ油、スポット試験48時間
	◎	ガソリン、スポット試験48時間
	△	灯油、スポット試験48時間
	◎	エンジンオイル、スポット試験48時間
	◎	切削油、スポット試験48時間

※判定 ◎=異常なし/△=やや膨潤 ※スポット試験は、JIS A 5705に準拠
※試験結果は、弊社における試験に基づくもので、保証値ではありません。

施工上の注意事項

- 下地の砂、ゴミ、ホコリ、油等を完全に除去し、下地との付着を高めるため、事前にポリッシャー・サンダー・研削機にて下地調整を必ず行って下さい。また、新設コンクリート・モルタル面の表面には、レイタンス(遊離アルカリ)による脆弱層が形成されるため、密着不良の原因となります。必ずワイヤー付きポリッシャー等でレイタンス層を完全に除去して下さい。また、剛毛引き仕上げコンクリート面に施工する際は、当社までお問合せ下さい。強度が低いモルタル・セメント系下地調整材は、破壊される事により剥離する場合がありますので使用しないで下さい。
- コンクリート・モルタルの養生不足は、水分の影響により塗膜層のフクレ、硬化不良を、またアルカリの影響により密着不良を招く場合があります。したがって、含水率が、高周波水分計ケット社製HI-520・HI-520-2で測定し、コンクリートレンジの表示値が5%以下、かつ、pH9.5以下になってから施工して下さい。コンクリート・モルタルは打設後、常温乾燥で夏期3週間以上、冬期4週間以上の期間が必要です。また、降雨直後で下地に水分を含んでいる場合は、2日以上乾燥させて下さい。
- 下地のアスファルトコンクリート面は十分な転圧と緻密な仕上がりを必要とします。アスファルトコンクリートの脆弱部は完全に除去して下さい。
新設の場合は2週間以上期間を取り、表面の油分を無くして下さい。
- 新設アスファルトコンクリートで転圧後すぐに塗装する場合は、フロンオイルクリーナーSPとポリッシャー(またはデッキブラシ)を使って表面の油分を入念に除去、高圧水洗機で丁寧に洗浄、十分に乾燥させた後、研磨機(ライナックス等)のダイヤの刃で研磨、またはポリッシャーとサンドペーパー#40で研磨を行い、十分に清掃して下さい。
また、1週間以上放置しても表面の油分が十分に消失しない場合も同様に処置して下さい。
- アスファルトコンクリートの密度により使用量、乾燥時間が変化しますのでご注意ください。
- アスファルトコンクリートの骨材の影響でサビが発生する場合があります。フロンアクアファーストを塗装しても経時でサビが表出する場合がありますので予めご了承下さい。
- コンクリート・モルタル等に発生した亀裂は、Uカットして、フロンエポバテ等を充填し、亀裂面が平滑になるように研磨して下さい。
- アスファルトコンクリート面にはフロンアクアファーストを直接、施工して下さい。
- 施工後23℃では、40分程度経過後、歩行可能となります。ただし、この時間帯は、温度、使用量、換気状態によって変化しますのでご注意ください。
- 床面に貼り付けたラインテープ等を除去する際、塗膜が剥がれる場合があります。
- タイヤ等のゴム製品が長時間接触していると、塗膜の汚染や剥離が生じる場合があります。
- 淡彩色は、他の色と比べて汚れが目立ちやすい場合があります。
- 塗装する際には、ローラーネットをご使用下さい。さらに、きれいに仕上げる為に、中毛ローラーにてタテ、ヨコ(十字)で塗装して下さい。
- 床暖房やロードヒーティング床面には塗装しないで下さい。剥離や雪解けが悪くなるなどの不具合が生じる場合があります。
- ご使用になる環境を充分に考慮して適正な材料と施工法を決定して下さい。
- フロン水性プライマーF・カチオン浸透エポプライマーに使用したローラー、ハケ等はフロンアクアファースト・フロンアクアファースト遮熱と共用しないで下さい。他の容器に移す場合はプラスチック容器を使用して下さい。金属容器を使用するとサビが発生する可能性があります。
- 気温5℃以下、湿度80%以上では施工しないで下さい。
硬化時間、硬化後の性能は施工時の温度に大きく影響されます。

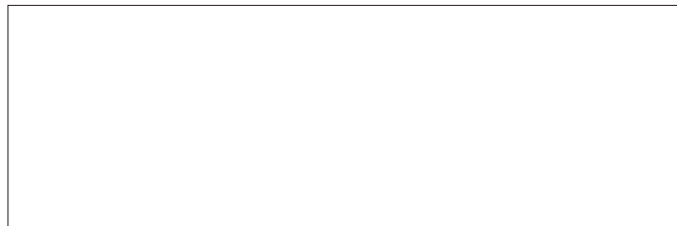
5℃以下 乾燥後退	15℃~25℃ 最適	30℃以上 乾燥促進
(密着不良、ひび割れ、カブリ等発生)		(作業性悪化による仕上り不良)

また、施工時の環境が悪い場合(低温時、高温時、換気が充分でない室内)は塗膜に欠陥(ひび割れ、硬化不良等)が発生する恐れがありますので、窓、ドアを開放する、又は送風機等を使用し、換気を良くして下さい。

- 表面乾燥が早く、皮はりをしやすいため、開封後は速やかに使い切って下さい。
- 直接皮膚に触れないように十分に注意して下さい。もし、触れた場合は、ウエス等で十分に拭き取り、中性洗剤で洗って下さい。
- フロンアクアファースト・フロンアクアファースト遮熱は、水を希釈剤としているため、凍結する恐れがあります。凍結したものは、正常な塗膜が得られないことがあるため、凍結させないように保管して下さい。
- 材料の保管、取り扱いについては、消防法、労働安全衛生法、その他に基づき十分な管理をお願いします。
- 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時及び施工後の換気を充分に行ってください。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときは、産業廃棄物として処理して下さい。
- 容器、塗装具などを洗浄した廃液は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産廃処理業者に処理を依頼して下さい。

業務用	《共通注意事項》
	1.取り扱いについては、 容器に表示された注意事項を守って下さい。 2.アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取り扱いを避けてください。 (呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。) ※詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。 ※SDSは弊社HPにて閲覧、ダウンロードしていただけます。トップページから製品情報のページにアクセスし、各種SDS一覧をご参照下さい。

●お問い合わせは・・・



東日本塗料株式会社



本社/〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306
埼玉工場/〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518
仙台営業所/〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320
新潟営業所/〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730
静岡営業所/〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063

厚生労働省指針13物質
文部科学省基準6物質
非配合

F★★★★

速乾

無鉛

艶消

低臭

1液速乾水性コアシェル型床用塗料

フロンアクアファースト フロンアクアファースト遮熱

東日本塗料

1液速乾水性コアシェル型床用塗料

フロンアクアファースト

フロンアクアファースト遮熱

- 低臭
- 防塵
- 艶消
- 無鉛
- 遮熱

※フロンアクアファースト遮熱のみ

フロンアクアファーストシリーズの

2大特長

速乾

①午後1時から塗り始めても午後5時には歩行できます。(23℃)
②水性塗料が苦手とする10℃の気温でも1時間程度で乾燥します。

1液

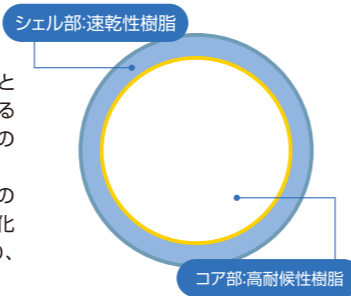
1液水性塗料で、だれにでも使いやすい塗料です。

用途 工期が限られている箇所に最適です



コアシェル型(core-shell)

構造のイメージはゆで卵を思い浮かべて頂くとわかりやすいと思います。黄身(=core)、白身(=shell)です。コア(核)となる高分子の粒子の周りに、シェル(殻)と呼ばれる、コアとは別の高分子が覆っている構造をしています。フロンアクアファーストシリーズはコア(核)=高耐候性の樹脂を、シェル(殻)=速乾性の樹脂で覆う構造で、さらに進化したエマルジョンとなっています。シェル部で素早く膜を作り、コア部で耐候性を長く保つことができます。



容量・標準塗装面積

品名	容量	標準塗装面積(コンクリート面の場合)
フロンアクアファースト	15kg	0.15kg/m ² ×2回塗りで50m ²
	4kg	0.15kg/m ² ×2回塗りで13.3m ²
フロンアクアファースト遮熱	15kg	0.15kg/m ² ×2回塗りで50m ²
	4kg	0.15kg/m ² ×2回塗りで13.3m ²
フロン水性プライマーF	15kg	0.12~0.15kg/m ² ×1回塗りで100~125m ²
	4kg	0.12~0.15kg/m ² ×1回塗りで26~33m ²

※塗装面積は下地状況により異なりますのでご注意ください。

施工例

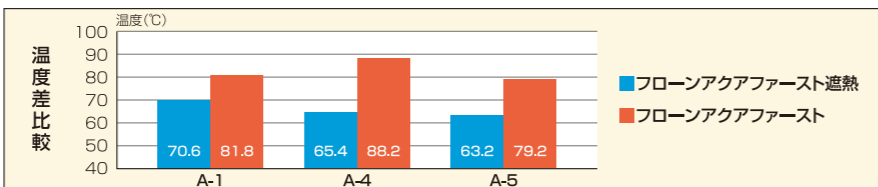


遮熱性能 ※フロンアクアファースト遮熱のみ

遮熱性能評価方法 コンクリート板にフロンアクアファースト遮熱及びフロンアクアファーストを塗布し、測定温度差で評価

試験条件

コンクリート板/厚さ6cm、赤外線照射距離/20cm
Kett赤外線ランプ/100V400Wを1時間照射
表面温度測定(色:A-1マスカットグリーン、A-4フォックスグレー、A-5サンドベージュ)



色相	フロンアクアファースト遮熱	フロンアクアファースト	温度差
A-1 マスカットグリーン	70.6℃	81.8℃	11.2℃
A-4 フォックスグレー	65.4℃	88.2℃	22.8℃
A-5 サンドベージュ	63.2℃	79.2℃	16.0℃

※グリーン、グレー、ベージュ系各色について10℃以上の遮熱効果が得られています。

色相 同一製品でも生産ロットが異なると、常備色・調色品共に色が異なる場合があります。特に、材料追加注文などで異なるロットの製品を塗り継ぎした場合は、仕上りに支障をきたす可能性がありますので、施工の際は、同一ロット、同一方法で、見切りの良いところまで仕上げて下さい。

常備色(6色)	標準色(15色) ※受注生産	指定色
A-1 マスカットグリーン	B-4 ムーングレー	B-15 キャメルイエロー
A-2 エメラルドグリーン	B-5 シルバーグレー	B-22 マイルドグリーン
A-3 フレッシュグリーン	B-6 ハンターグリーン	B-16 チャイナベージュ
A-4 フォックスグレー	B-7 セメントグレー	B-23 ウォーターブルー
A-5 サンドベージュ	B-12 ライトベージュ	B-18 ラインイエロー
A-6 スカーレットブラウン	B-21 アーモンドブラウン	B-24 ハーベストブラウン
		B-25 マリンブルー
		B-26 ゴールデンイエロー

※フロンアクアファースト遮熱はすべて受注生産となりますのでご了承ください。

標準工法

フロンアクアファースト

工法名	工程	材料名	使用量(kg/m ²)	上塗り可能時間(23℃)	備考
1 コーティング工法(コンクリート面) (総合塗膜厚約0.2mm)	1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	フロン水性プライマーF ※1、※2	0.15	50分~48時間	原液のまま、中毛ローラー、はけにて塗布。吸い込みの激しい場合は2回以上塗布して下さい。
	3	フロンアクアファースト水道水	0.0075~0.015	40分~48時間	水道水で5%~10%希釈し、中毛ローラー、はけにて塗布。
	4	フロンアクアファースト水道水	0.15 0.0075~0.015	40分 (軽歩行可能時間)	
2 ミキシング防滑工法(コンクリート面) (総合塗膜厚約0.6mm)	1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	フロン水性プライマーF ※1、※2	0.15	50分~48時間	原液のまま、中毛ローラー、はけにて塗布。吸い込みの激しい場合は2回以上塗布して下さい。
	3	フロンアクアファースト水道水	0.25 0.05 0.0125~0.025	40分~48時間	フロンアクアファーストを1に対し、フロン砂6号を0.2(重量比)の割合で計量、混合し水道水で5%~10%希釈し中毛ローラー、はけにて塗布。
	4	フロンアクアファースト水道水	0.25 0.05 0.0125~0.025	40分 (軽歩行可能時間)	
3 コーティング工法(密粒アスファルトコンクリート面)	1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照下さい。 ※3、※4
	2	フロンアクアファースト水道水	0.3 0~0.015	1時間~48時間	水道水で0%~5%希釈し、中毛ローラー、はけにて塗布。
	3	フロンアクアファースト水道水	0.3 0~0.015	1時間 (軽歩行可能時間)	
4 防滑工法(密粒アスファルトコンクリート面)	1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照下さい。 ※3、※4
	2	フロンアクアファースト水道水	0.8 0.8 0.032	1時間~48時間	フロンアクアファーストを1に対し、フロン砂6号を1(重量比)の割合で計量、混合し水道水で4%希釈しゴムこてにて塗布。
	3	フロンアクアファースト水道水	0.3 0.15 0.015	1時間 (軽歩行可能時間)	フロンアクアファーストを2に対し、フロン砂6号を1(重量比)の割合で計量、混合し水道水で5%希釈し中毛ローラーにて塗布。
5 吹付け防滑工法(開粒アスファルトコンクリート面)	1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照下さい。 ※3、※4
	2	フロンアクアファースト水道水	0.5 0.15 0.025	1時間~48時間	フロンアクアファーストを1に対し、フロン砂6号を0.3(重量比)の割合で計量、混合、水道水で5%希釈し、電動攪拌機で攪拌後、リシガン(口径4mmφ)にて塗布。
	3	フロンアクアファースト水道水	0.5 0.15 0.025	1時間 (軽歩行可能時間)	

フロンアクアファースト遮熱

工法名	工程	材料名	使用量(kg/m ²)	上塗り可能時間(23℃)	備考
1 コーティング工法(コンクリート面) (総合塗膜厚約0.2mm)	1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	フロン水性プライマーF ※1、※2	0.15	50分~48時間	原液のまま、中毛ローラー、はけにて塗布。吸い込みの激しい場合は2回以上塗布して下さい。
	3	フロンアクアファースト遮熱水道水	0.15 0.0075~0.015	40分~48時間	フロンアクアファースト遮熱を水道水で5~10%希釈し、混合、攪拌後、中毛ローラー、はけにて塗布。
	4	フロンアクアファースト遮熱水道水	0.15 0.0075~0.015	40分 (軽歩行可能時間)	
2 ミキシング防滑工法(コンクリート面) (総合塗膜厚約0.6mm)	1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	フロン水性プライマーF ※1、※2	0.15	50分~48時間	原液のまま、中毛ローラー、はけにて塗布。吸い込みの激しい場合は2回以上塗布して下さい。
	3	フロンアクアファースト遮熱水道水	0.25 0.05 0.0125~0.025	40分~48時間	フロンアクアファースト遮熱1に対し、フロン砂6号を0.2(重量比)の割合で計量、混合し水道水で5~10%希釈し中毛ローラー、はけにて塗布。
	4	フロンアクアファースト遮熱水道水	0.25 0.05 0.0125~0.025	40分 (軽歩行可能時間)	

フロンアクアファースト・フロンアクアファースト遮熱 共通注意事項

- ※1 下塗り材としてカチオン浸透エポプライマーもお使いいただけます。
- ※2 フロン水性プライマーF・カチオン浸透エポプライマーに使用したローラー、はけ等はフロンアクアファースト・フロンアクアファースト遮熱と共用しないで下さい。
- ※3 アスファルトコンクリートの骨材の影響でサビが発生する場合があります。フロンアクアファーストを塗装しても経時でサビが表出する場合がありますので予めご了承下さい。
- ※4 アスファルトコンクリートの密度により、使用量が変わりますのでご注意ください。(フロンアクアファーストの場合)